

今月の管内農業情報(田原農業改良普及課)

[2016年6月20日]

6月の農業情報

タイトル おいしいトマトを食卓へ トマト部会設立

とき 平成28年5月27日(金)

ところ JA愛知みなみ 赤羽根支店

主体・対象 JA愛知みなみトマト部会(127名)

内容

田原市は冬春トマトの作付け面積全国第3位の産地で、それを支えるJA愛知みなみ管内の3部会が統合し、会員127名によるJA愛知みなみトマト部会が設立された。

設立総会では、3か所を集約して完成した新選果場の糖度測定機能を活用して有利販売を行うことで、部会の目的であるトマトの生産振興、部会員の経営安定と所得向上を図っていくことが決議された。これを実現するために、「おいしいトマトを食卓へ」を活動方針として品質保証のできる産地を目指すことが採択された。その内容は、①糖度センサーによる選果、品質の高いトマト生産技術を確立し、消費者へおいしいトマトを届ける。②部会統合を生かし取引先との関係強化、契約取引による販売強化をすすめる。③販売先のニーズを捉えた生産、ファーストトマトの生産及び販売の強化、環境制御技術の導入により、生産と販売の連携を強化して生産力を向上する。④GAP、トレーサビリティの実践により安全・安心に対する取組を強化することである。

農業改良普及課では、部会設立に向けて現状の課題とその改善に向けた活動内容の検討を支援してきた。今後、果実糖度データを活用した栽培技術の改善、増収技術の普及を推進する。



新選果場に出荷されたトマト